

渡 邊 昶 議員



廃止された三重交通路線 バス停留所の復活を

問

十四山地区の東端に三重交通の亀ヶ地、善太橋バス停がある。

しかし、廃止により市民は30分歩いて蟹江町のバス停を利用している。復活できないか。

巡回福祉バスを利用してほしい

答 市長

17年2月、三重交通から路線バス廃止の文書が提出され、十四山村が苦渋の選択の上、同年4月より路線バスに対する補助金廃止を決定した。解決済みの問題と言わざるを得ない。

両地区には現在、巡回福祉バスの停留所を設けており、そちらを利用してほしい。

名古屋十四山線の早期完成に努力を

問

まちづくりの一番基本になる道路の将来構想やビジョンを尋ねる。

また合併した両町村の一体化のため、名古屋十四山線国道155号南伸の早期完成に努力すべきではないか。

国・県に強く働き掛けたい

答 市長

既存の主要幹線道路を南北に結ぶ国道155号（＝名古屋第3環状線）や、市道中央幹線が整備されていない現状で、早く整備をして

いかなければならない。

十四山地区との均衡ある発展という中で、名古屋十四山線も急いで整備していきたい。

今後の道路政策、整備は総合計画、都市計画マスタープランの策定に反映し、国・県に強く働き掛け、市を発展させたい。

航空宇宙産業の企業誘致の研究を

問

この地域で最も有望な産



拡張工事が進む川崎重工業名古屋第1工場

関係機関とよく協議したい

答 市長

現在、川崎重工業（楠地内）ではボーイング787の機体の一部が生産されており、工場の拡張計画が進められている。

また楠地内の貯木場埋め立て地への進出企業のうち、2社は1万㎡規模の航空機組み立て関連企業である。

地理的優位性を生かし、航空宇宙産業等を誘致するため、インフラ整備等、さまざまな関係機関とよく協議をし、都市計画プランとして考えたい。

業は、航空宇宙産業と炭素化学繊維産業であると思う。企業誘致には道路等インフラ整備の促進が重要で、そのためには国・県の上位計画と市の考えの整合性が必要である。

研究機関をつくり、今から検討しているってはどうか。